

農林水産大臣賞受賞者（令和6年度全国林業経営推奨行事）

おおやま すすむ
大山 進 76歳

山形県最上郡戸沢村



1. 経営の概要

- (1) 経営森林面積：33.6ha
- (2) 経営農地面積：水田4.2ha、畑・樹園地2.1ha
- (3) 家族の中の林業従事者：2人（本人・妻）
- (4) 主たる業種：特用林産、林業

大山進氏は昭和39年から林業に従事。以来60年近くにわたって最上地方の森林整備とたらの芽やワラビなどの産地化に取り組まれた。平成14年に山形県の指導林業士となり、同28年からは県林業士会の最上支部長を務めるなど、同地域の林業振興に大きく貢献。特にたらの木の穂木を13,000本育成するなど、全国1位の生産量を誇る山形県のたらの芽の生産拡大に大きく貢献した。また、平成25年に開園したワラビ園には年間約1,000人の来場がある。

2. 森林の経営目標と施業の特徴

- (1) 経営目標・到達目標
 - ①目標とする森林の樹種別割合：スギ60% 広葉樹40%
 - ②拡大造林：あり
- (2) 施業の特徴

施業の特徴：下刈り、つる切り、徐間伐等の森林施業を適正に行っているため、森林組合等から地区のモデル林として扱われている。

3. 地域への貢献

たらの芽の栽培技術の普及に必要なマニュアルを最上地域で初めて作成するなど、栽培者への技術指導に尽力している。また、近年は社会福祉法人にシイタケ等の原木を提供したり、山形県立農林大学校の実習生を受け入れたり、たらの芽の促成栽培を指導するなど、後継者の育成にも大きく貢献している。

